

「理解」とは何か

— NHK ラジオ・TV の語学番組の活用方法を考える —

Q : NHKラジオやTVの語学番組は役に立つのですか。どう活用したらよいのですか。「理解」、「定着」の観点から効果の上がる学習方法を教えて下さい。

A : (1) 私は英語を勉強することが好きだったので、中学校 1 年生のときには NHK ラジオ「基礎英語」、中学校 2 年生のときには「続基礎英語」、中学校 3 年生のときから高校校 3 年生までは「ラジオ英語会話」、高校 1 年生から高校 3 年生までは「テレビ英会話中級」を、毎月テキストを購入してあまり休むことなく視聴していました。とても楽しく役に立ったと実感していましたので、NHK ラジオや TV の語学講座を活用して、英語をはじめ様々な語学を勉強することを皆様にもお勧めします。

(2) 大事なことは、何のために番組を視聴するかです。各番組は初級や中級、上級とレベルが分かれていますので、目的をはっきりさせてからどの番組にするかを決めて下さいね。例えば、英語をゼロからやり直したいのであれば「基礎英語(1)」がお勧めです。少しレベルの高い英語を身につけたいのであれば「英語会話」などと、番組のレベルとテキストの内容をよく研究してから挑戦して下さいね。すべての番組は 4 月から始まりますが、10 月からスタートする番組もあります。全くゼロから始めるのでなければ、年の途中からでも大半の番組はついていけますよ。

Q : テキストは毎月買うほうがよいのですか、また、予習はしたほうがよいのですか。予習をするとしたら、どのようにすればよいのですか。

A : (1) テキストは、毎月 20 日すぎから全国一斉に書店で販売になりますので必ず買い求めましょう。語学を勉強するのにテキストを買わないなど考えられません。ラジオも TV も NHK の英語のテキストはどの番組も非常によくできていますので、是非、バッチリ予習して下さいね。CD も毎月必ず購入しましょう。

(2) 一番簡単な予習の仕方は、テキストをスミからスミまでゆっくりと「音読」することです。声を出して読むことです。これだけでも、翌月から番組を聞くのが楽しくなります。テキストを「音読」するときには、日本語訳の部分は紙でかくして見えないようにして読み、どのような内容なのかをまずは自分の頭で考えてみましょうね。

(3) そして、もし意味のわからない語句が出てきたら辞書を用いて調べ、その意味をその語学テキスト専用の「意味調べノート」に書き写しておきましょう。「意味調べノート」の「音読練習」と「書き取り練習」もバッチリして下さいね。予習のときに音読練習と書き取り練習をすることは、語学の上達の秘訣です。

(4) このような作業が終わり、テキストの内容が少しでも「理解」できたら、テキストの「CD」を用いて発音に注意しながらスラスラ読めるようになるまで何回も「音読練習」を繰り返し、放送当日を迎えて下さい。スラスラ読めるようになることが、すべての音読練習の目標です。これが、私のお勧めするラジオや TV 講座の予習です。

(5) 「文法事項」の説明を読んだり問題練習をしたりすることも、できるだけ「予習」のときに済ませて下さい。テキストによっては、1 つの課のテキストと放送原稿を書き上げるのに 1 週間近くかけていると思われる先生もいます。講師の先生がほぼ「命懸け」で作成していると思われるテキストや番組がありますので、そのようなテキストは皆様にとって「宝物」となります。是非、

時間をかけて熱心に「予習」をし、著作者の講師の先生の「心意気」、語学教育への「情熱」を実感して下さいね。

- (6)ただし、英語以外の語学のテキストの中には、文字の分量が極めて少なく、簡単に済ませることに徹しているようなものも見られます。そのようなテキストを見たら、これはエクスだけ示してあるのだなと思い、すべて吸収して下さいね。

Q：放送はどのような態度で視聴したらよいのですか。

- A：(1)NHK のテキストはかなりコンデンスされた内容の濃いものが多く、熱心に執筆されていることがよくわかります。毎回の放送内容は、担当講師がディレクターと打ち合わせながら極めてキッチリと番組の構成を考えた上で、放送原稿をテキストに合わせて一語一句書き上げてから読む練習をした上で、講師の先生方は番組を録音していると思われます。テキストを持たずに音声だけを聞いてもわかるような配慮をしていると私には思えます。そのような素晴らしい内容ですので、安心して一語一句熱心にお聞き下さい。講師の先生の指示で、様々な練習も是非実行してみてください。
- (2)テキストには書いてないが、大事なことはどんどんノートやテキストにメモを書き込まれることを私はお勧めします。その理由は、NHK の語学番組は 15 分～ 20 分と短時間で多くの大切な内容を伝えるものが多いため、「繰り返しの説明」があまりないからです。学校や開倫塾の授業ですと、大切なことは、皆様の様子を見ながらよく「理解」するまで様々な方法で繰り返し説明しますが、NHK の番組は時間が短いために、一度説明したことを繰り返すことはあまりしません。そこで、大事なことはバッチリとメモをしておくことが大切になります。
- (3)できれば、録音・録画することをお勧めします。または、ラジオ番組は NHK のインターネットラジオでその週のうちにもう 1～2 回番組を聞くことをお勧めします。
- (4)再放送を聞く時間があったら、是非、2～3 回目にも挑戦して下さいね。1 回目よりは、はるかによい勉強になります。

Q：番組の復習はどうすればよいのですか。

- A：(1)その日のテキストは、その日のうちにスミからスミまで一語残らず覚える。その週のテキストの内容はその週のうちに、その月のテキストの内容はその月のうちに全部身につけ、自分のものにする。これを目指して復習をして下さい。復習をするときにも CD の活用をお忘れなく。このように「^{こころざし}志」が高ければ必ず成果は出ます。
- (2)私の中学校時代の親友は、地方の大学を卒業後、東京大学の大学院に入学することを決意。それまで学んだことのなかったフランス語の基礎を NHK ラジオフランス語講座入門で学び、語学の一つをフランス語で受験し、大学院の入学試験に合格。5 年後に、博士課程を修了しました。
- (3)復習で大切なのは、常に 4 月号の第 1 課や 10 月から始まる講座では 10 月号の第 1 課から現在学習しているところまでを「音読練習」し続ける。「意味調べノート」も第 1 回分から絶えず読み直す。書き取り練習もする。このようにして、テキストに出ている内容はすべて身につけることです。テキストは本文以外の記載内容もスミからスミまで身につけ、自分のものにするのです。

Q：最後に一言どうぞ。

- A：(1)NHK のラジオ講座といえども、テキストの内容や先生の教え方には相当な差があります。英語以外の言語はなぜかテキストの内容が英語に比べて貧素なものもあり、番組も半年で終了し、秋からは前年 4 月からの番組が再放送されるということが毎年続き、大問題です。
- (2)英語以外の語学番組も英語と同様に 1 年間通して行い、しっかりと語学力を身につけさせるべきと私は考えます。インターネットラジオやインターネット TV で何回も視聴で

きるようにすれば、放送は1回でOKと私は考えます。回数を減らした分、1年間番組も増やすべきです。英語以外の語学番組は、レベルの設定がきめ細かくありません。初級と中級の接続もメチャメチャとってよいほど考えられていません。

(3)このような大問題はあるにせよ、しっかりと予習をして熱心に番組を聞き、復習を怠らなければ、相当な語学力がつくのがNHKラジオやTVの語学番組です。是非、秋からチャレンジして下さい。

— 2012年8月27日林明夫記 —